

屋 内

- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備をしましょう。
- 避難に備えて貴重品などの非常持出品の準備をしましょう。
- 気象情報を注意深く聞きましよう。
- むやみに外出しないようにましよう。
- 断水などに備えて、飲料水などを確保しておきましよう。
- 浸水などの恐れがあるところでは、家財道具や食料品、衣類、寝具などの生活用品を高い場所へ移動しましよう。
- 高齢者や乳幼児、病人などを安全な場所へ移動しましよう。

土砂災害と雨量

土砂災害と雨量の間には密接な関係があります。地中にしみ込んでいる水の量が多いほど発生する数や規模が増します。また、短時間に集中し



て降る場合に発生しやすく規模も大きくなります。
 がけ崩れのほとんどは、梅雨や台風の時期に発生しています。長雨や大雨により地面に大量の水がしみ込み、弱くなった斜面が崩れるためです。雨量だけでなく、斜面の傾き、地質、植物の有無なども関係します。地域によって異なりますが、1時間に20mm以上、または、降り始めから100mm以上の雨が続いたら、がけ崩れの危険が高いとされています。また、雨が上がった後で災害が起こることもありますので、十分な警戒が必要です。

『救える命』を救いたい

救急救命士による救急処置が拡大します

消防署の救急救命士は、救急車で出場し医療機関に傷病者を収容するまで救急活動を行います。このうち心肺停止の傷病者には電気ショック(除細動)や静脈路確保のための輸液など救命処置を行っています。

また、平成16年7月からは、所定の研修を終了し知事の認定を受けた救急救命士による気管挿管の処置ができるようになり、ますます救命率の向上が見込まれます。

そこでこの研修を、旭中央病院を実習病院として行うこととなりました。

つきましては、専門医の指導のもと救急救命士が気管挿管の実習を行うに際し、傷病者の皆様方にご協力をお願いすることがあります。さらに多くの「救える命」を救うため、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

八日市場市外三町消防組合消防本部 ☎72-1917

平成15年度 横芝町における救急出場件数

交通事故	一般負傷	急病	その他	合計
62件	54件	370件	84件	570件